

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
1	古川 よし枝	質問事項 健康保険証からマイナ保険証への一本化について
		質問要旨 政府は「マイナ保険証」への一本化に向けて、従来の健康保険証の利用を停止する方針である。国民健康保険に限り来年の3月末まで、従来の保険証を提示し、資格情報を確認できれば、医療費の10割負担を回避できるとしている。保険証廃止以降、医療機関の窓口で利用者の保険情報を確認する証明書は、期限切れ保険証の暫定的な運用も含めると、少なくとも9種類も混在する異常事態となる。デジタル化の押し売りで、事務手続きの効率化どころか、より煩雑となっているのが実態である。住民からの相談や医療機関からの問い合わせなど担当課の業務への影響はどうか。
		答弁者 市長・担当部長
		質問事項 5歳児健診の実施について
		質問要旨 5歳児健診について、政府は2028年度までに全自治体での実施を目指している。県内では現在9市町が実施しており、新たに、8市町が来年度の実施に向けて準備をしているという。本市の実施時期について、また、早期に実施できない課題等について伺う。
		答弁者 市長・担当部長
2	飯村 裕一	質問事項 高齢者や障がい者に対するエアコン購入設置費・電気料金の助成について
		質問要旨 9月に入っても猛暑は続いている。熱中症対策として、エアコンの使用は有効であるが、エアコンの購入は、家計への負担が大きい。 そこで、高齢者や障がい者に対し、エアコン設置・修理・性能の良い機種に買い替え等の経済支援をしてはどうか。 また、高齢者は電気料金を節約する傾向が見られることから、電気料金の助成等の検討が必要ではないか。
		答弁者 市長・担当部長
		質問事項 温暖化に伴う異常気象に対応するための本市のコメ作りに関する施策について
		質問要旨 ・連日の猛暑は、毎年続いていくものと思われる中、本市では、この地球温暖化に伴う異常気象をどのように捉え、また主要産業であるコメ作りを温暖化からどのように守って行くべきと考えているのか。
		答弁者 担当部長
3	小林 芳子	質問事項 つくばエクスプレスと都心部・臨海地域地下鉄の接続事業化促進期成同盟会の設立について
		質問要旨 ・先般、11市区と茨城県という構成自治体で新たな期成同盟会を設立した。東京駅への延伸、更には臨海地域地下鉄との接続は、本市に住んでいる市民にとって非常に期待の大きい事業だと考える。そのような中、本市の存在感も、益々発揮することを期待するが、いかがか。
		答弁者 担当部長
		質問事項 小中学校の水泳授業の在り方と今後の方向性について
		質問要旨 小中学校の水泳授業は、天候に左右される為、十分な授業日数が確保できない場合がある。また、学校のプールは、水道代や維持管理に多大な費用がかかるほか、教職員への負担も大きい。 水泳授業で、民間施設や公共施設の温水プールを活用すれば、通年利用が可能となるため、十分な授業日数が確保できる。また、専門の監視員が常駐しているため、教職員の負担軽減も期待できる。 コスト比較や他の自治体の事例を参考に、水泳授業の在り方を再検討すべきと考えるが、市の所見を伺う。
		答弁者 教育長・担当部長
3	小林 芳子	質問事項 停電時の避難所開設と避難所の空調設備の整備状況、今後の見通しについて
		質問要旨 8月上旬に発生した停電では、猛暑の中で室温が急上昇した。夏場の停電は、熱中症のリスクが高まり、命に係わる状況となる可能性が高いと感じた。 そこで、停電時にも災害時と同様に避難所を開設する必要があると考えるが、指定避難所である小中学校の体育館や武道場の空調設備の整備状況を伺う。また、今年度、空調設備設置工事に係る予算が計上されているが、今後の整備の見通しを伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 暑さ対策と経済的支援を両立した、ランドセル等の無償配布や補助制度について
		質問要旨 小学校の入学時のランドセル購入費用は、子育て世帯や祖父母世帯にとっても、大きな負担となっている。 暑さ対策として、通気性の良い通学カバンへの見直しや、経済的負担を軽減する為の、ランドセル無償配布や購入費補助制度の導入が必要であると考え。県内でも、ランドセルの無償配布を実施している自治体が複数あるが、市の所見を伺う。
		答弁者 担当部長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
4	吉田 稔之	質問事項 マダニ感染症(重症熱性血小板減少症候群:SFTS)の対策について
		質問要旨 ・全国では、今年のマダニ感染症の累計患者数が過去最多の135人となり、死者も10人を超えたと、国立健康危機管理研究機構の報告があった。そこで、本市民に対するマダニ対策の周知について、現況を伺う。 ・本市におけるマダニの分布とSFTSの保毒調査の実施について、市に伺う。 ・マダニからの直接媒介のほか、感染した犬や猫などのペットから人への感染について、市の対応を伺う。
		答弁者 担当部長
5	松本 譲二	質問事項 職員の育成と職場環境の整備について
		質問要旨 本市職員は、日頃より多様なニーズに対応すべく年々業務量が増大しており、部署によっては恒常的な長時間勤務が発生している。 こうした状況の中、国が示す「人材育成・確保基本方針策定指針」を踏まえ、職員の健康保持や安心して業務を遂行するための職場づくりが求められている。そこで、職員のスキルアップ形成支援、メンタルヘルス対策、柔軟な勤務制度の導入等、職場環境の整備について、本市においては具体的にどのような取組が行われているのか、また今後の方針について市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
6	本間 真由美	質問事項 放課後児童クラブの利用状況と入級対象者の拡大について
		質問要旨 ・核家族化や共働き世帯が増加し、児童クラブの利用者が増加している。本市においても、みらい平地区の児童数の増加に伴い、令和6年4月に民間事業者が運営する児童クラブが開所しているが、全ての子供たちが安全・安心に過ごせる放課後の居場所として、児童クラブ数は充足しているのか。また、現在の児童クラブの利用状況について伺う。 次に、本市の児童クラブの利用条件について、母親の産前産後休業期間での利用は認められているが、育児休業期間中は利用対象外となっている。今後の児童クラブの入級対象者の拡大について、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
7	中島 督仁	質問事項 赤ちゃんの駅事業について
		質問要旨 ・出産した女性の中には、搾乳を必要とする方がいる。市内の公共施設等には、授乳とおむつ替えができるスペースとして、「赤ちゃんの駅」が設置されているが、低出生体重児の母親や産後早期に職場復帰された方など、赤ちゃんを連れていないことで、搾乳のために赤ちゃんの駅を利用することをためらう声もある。そこで、赤ちゃんの駅に搾乳でも利用できることを示すマークを掲示して、女性が搾乳のために一人でも利用しやすい環境にしてはどうかと考えるが、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
8	岡本 昌弘	質問事項 防災・災害対策に関する市の姿勢、体制の整備について
		質問要旨 日本は、世界有数の自然災害多発国であり、本市においても小貝川・鬼怒川等の一級河川が流れている。出水期では洪水災害発生のリスクがある低地部への備えが極めて重要と考えるが、地域防災計画で整備されている、風水害対策について伺う。 また、本市の避難所の収容能力と備蓄状況、そして避難所生活における環境改善への取組について伺う。
		答弁者 担当部長
8	岡本 昌弘	質問事項 フェーズフリー防災対策の推進について
		質問要旨 ・フェーズフリーとは、災害が起きた時のために準備するのではなく、日常的に使っているものを災害時にも役立てるという考え方である。本市におけるフェーズフリー防災対策の取組状況について伺う。 ・防災対策として、フェーズフリーの考え方の周知啓発及び市民を巻き込んだ取組が必要であると考え、市の見解を伺う。 ・フェーズフリーの考え方は、まちづくりにも生かせると思うが、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
8	岡本 昌弘	質問事項 災害時のキッチンカー・ランドリーカーの活用について
		質問要旨 ・一般的に、避難所では菓子パンやおにぎり、缶詰など簡易的な食事が多く、栄養の偏りで、体調不良を訴える方や、持病による食事制限もあるため、提供された食事を口にすることができない方もいる。そこで、栄養のバランスのとれた温かな食事を提供できるキッチンカー事業者と市で協定を結び、災害時に、避難所等でキッチンカーによる炊き出し等の支援を受けられる体制が必要であると思うが、市の見解を伺う。 ・災害時の避難所での洗濯は、プライバシーが絡む大きな問題である。特に、女性の視点に沿った配慮が必要で、女性が安心・安全・清潔な避難所生活を送るために、ランドリーカーの活用も考えるべきであると思うが、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
9	マクキム 洋子	質問事項 町田教育長再任による、今後の教育への取組や展望について 質問要旨 今年6月の定例会で、町田幸子教育長が再任命された。そこで、本市の教育行政に対する町田教育長の方針や理念を伺う。 また、本市の教育施策におけるこれまでの成果及び現状と課題、そして今後の取組や展望について伺う。
		答弁者 教育長
		質問事項 デザインマンホール蓋の設置事業について 質問要旨 全国的にデザインマンホール蓋の人气が高まっており、自治体の取組は拡大している。デザインマンホール蓋は、下水道への関心を高めると共に、自治体の魅力発信としても意義があり、多くの自治体で経済効果を上げている。 そこで、本市のキャラクターとして定着した「みらいりんどう」や、市の特産品のお米やおにぎり等をモチーフとした、デザインマンホール蓋の設置事業を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 守谷・小絹線道路の整備事業について 質問要旨 守谷・小絹線は、交通量の多い国道294号と並行していることから、交通の分散による混雑緩和が期待されている。 平成8年度より事業化され、約30年が経過し、その間、筒戸地区を中心に沿線開発が進み、工業・流通施設も建設され、住宅開発に伴い人口が増加している。しかし、一部区間の道路整備事業は停滞している。 そこで、これまでの進捗状況及び今後の計画を伺う。
		答弁者 担当部長
10	伊藤 正実	質問事項 ふるさと納税について 質問要旨 現在の状況と見通しとして ・予算額20億円の達成状況はいかがか。 ・返礼品の状況はいかがか。 ・新たな返礼品の開発(泉佐野市の手法などを含めて)はいかがか。
		答弁者 市長
		質問事項 ネーミングライツ・広告による増収について 質問要旨 現在の状況と見通しとして ・更なるネーミングライツ候補は、どのように考えているか。 ・新たな広告の方法と掲載場所の開発は、どのように考えているか。
		答弁者 市長
		質問事項 道路・公園・防犯灯などの異常通報システムについて 質問要旨 本市のホームページに「道路・公園・防犯灯などの異常通報システム」がある。これは、市民の皆さんの声をいただき、道路・公園・防犯灯などの管理を円滑にするための情報提供をお願いするものである。市民の皆さんにご協力をいただき、市民と一体となって公共物を管理していくことは非常に評価できる制度である。これからも積極的にPRし、継続していただきたいものである。 そんな中、運用方法について、もう少し使い勝手が良いものにしてほしいという声があったので、市の考えを伺う。まず、システム内の通報内容「どのような報告か教えてください」のところに、選択ボタンがあるが、選択の中に該当するような報告事項が無かった場合、どれを選べばよいかわからない。そのような場合に必要となるであろう「その他」の項目が無いが、設定する考えはあるのか伺う。 次に、システム内にある市の対応状況の報告について、そのコメント欄は、「結果」「対応」「対応結果」「対応状況」など、表記が統一されていない。また、コメントの無いものもあつたり、通報内容の中に含まれているものも散見された。統一したコメント欄にすべきと思うが、市の考えを伺う。 さらに、通報する際に「ご連絡が取れる連絡先を教えてください」という欄があり、それには個人情報である「お名前」「電話番号」「メールアドレス」の記載を要求している。通報者の方から、公共物の適切な管理のために個人情報の提供をしていただいている。本来は「匿名」でも、管理が不十分であれば状況を把握し、適正な管理をしていくことが市の責務であるにもかかわらず、ここで連絡先等を要求していることは、通報していただいた内容の顛末について、通報者に市が通知しているものと推察している。そこで、通報者に対してどのような対応をとっているのかを伺う。 また、内閣官房が行っている「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の取組事例集である「デジ田メニューブック」によると、一例において「市民参加型のインフラ保全プラットフォーム『TEKKONJ』」が披露、掲載されている。非常に好例であると感じるが、本市においても、このような事例を参考に、インフラ保全の手法として、積極的に導入、推進していくべきと提案するが、市の考えを伺う。
		答弁者 市長

一般質問一覧表

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
11	直井 高宏	1
		質問事項 今年度導入した公共施設包括管理事業の効果について
		質問要旨 ・公共施設管理に係る業務の事務負担を軽減し、プロによる適正な管理を目的とした「公共施設包括管理事業」が導入されて約半年となるが、その効果について伺う。 ・維持管理を担当していた部署の職員の負担、逆に55施設を管理することとなった財政課職員の負担はどうか伺う。 ・予算削減という点での効果とコスト以外の効果、公共施設の管理がどのように変わったのか伺う。
		答弁者 市長・担当部長

通告議員11人 質問22問